

2023 年度 情報・知能工学系 FD 活動状況

情報・知能工学系では、FD 活動として次のような取り組みを実施した。

1. FD 会議の実施

FD 会議を開催し、(a)卒業・修了予定者アンケート結果に基づく分析と対応策の検討、(b)修論審査方法の見直しに関する議論、(c)ソフトウェア演習内容の確認、プレースメントテストの見直し、コース細分化の検討、(d)離散数学基礎・離散数学の改定と担当者の調整、(e)確率・統計関連の科目間の連携についての検討、(f)JABEE への取り組みの一環として、技術者像、学習・教育達成目標の周知方法の検討、(g)シミュレーション工学の単位の分割案、などを審議した。

2. JABEE 受審にむけた自己点検書の作成と実地審査受審

JABEE の認定継続審査の受審にむけて、自己点検書を作成し、各規準に対応する取り組み状況、最近の教育改善活動の状況、およびエビデンス等を整理した。

3. 副担任面談の実施

3年生の学生と担当の副担任との面談の場を設けて、学生からの要望や修学状況についてヒアリングを行っている。また、各学生の作成した学習・教育目標に関する自己振り返り書に基づき、面談シートに記入して、系内で集約を行った。

4. 授業評価アンケート等の実施および3系ベストレクチャー賞の選考と本学・教育特別貢献賞候補者の推薦

前期授業および後期授業の授業評価アンケートの実施とその結果をふまえた「ふりかえり」報告書作成した。また教員個人評価に係る自己点検書の作成と業績データの確認を行った。

3系ベストレクチャー賞として、講義・演習を2コマ以上担当する教員について「授業評価アンケート結果」に係る当該年度1年間の「授業の総合評価の評価点」を平均し、その平均点上位1名を選出した。なお、実習、実験は、上記の講義担当には含めていない。

5. 授業研究(授業参観)のための授業公開と参加

情報・知能工学系の教員では、(1) 6月12日(月)第2時限 A2-201 講義室 ヒューマン情報処理〔学部4年〕(3系 北崎 充晃 教授)、(2) 7月24日(月)第2時限 B1-201 講義室 確率・統計論〔学部3年〕(3系 中内 茂樹 教授)が授業公開を行った。

6. カリキュラム編成およびカリキュラムポリシーの見直し

卒業・修了予定者アンケート結果の周知と系における分析・意見集約、高専シラバス点検の実施及びカリキュラム、教育体制レベルの改善点の整理を踏まえて、次年度のカリキュラム編成作業およびカリキュラムポリシーの確認を行った。

7. 本学主催のFD関連の研修会、セミナー等への参加

本学で実施した、新規採用教職員研修、TOEIC-IP オンライン試験、「工学分野でのジェンダード・イノベーション研究と広がり」ダイバーシティ推進センター主催シンポジウム、学長主催特別講演会、個人情報保護研修、研究データ管理・公開に関するFD研修会、高専一技科大連携に関する講演会、研究インテグリティの確保に係る研修会などに参加した。